



環境の森センター・きづがわ建設に向けて

～ “環境の森センター・きづがわ”は、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です～

市では、打越台環境センター（精華町内）に代わる新たなごみ焼却施設として“環境の森センター・きづがわ”（鹿背山地内）の建設に取り組んでいます。

平成29年度も半年以上が過ぎました。4月から建物の鉄骨工事と並行してプラント工事も始まり、現在

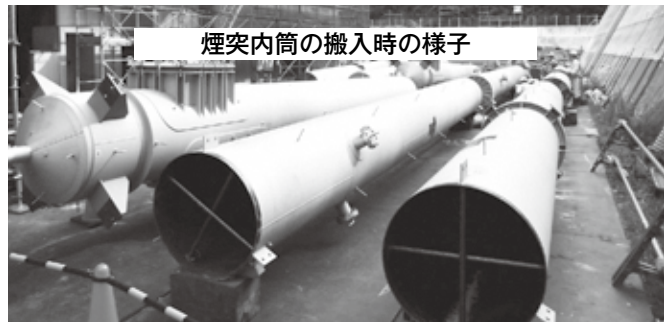
では、建物各階の外壁・床、煙突の鉄骨まで立ち上り、建物外観の輪郭が見えてきました。また、建物内には大型のプラント機器を配置され、施設の規模や機能が形になってきました。

今月は、10月の建設工事についてお伝えします。

建築工事では、煙突内筒を据付けしました

10月の建築工事では、9月に工場検査を実施した煙突内筒の据え付けをおこないました。煙突内筒は全長が37.5mあり、2基の内筒をそれぞれ4ブロックに分割して搬入しました。なお、煙突は建物と一体型で5階部分から立ち上がり、地上から最も高い部分で59mとなります。

また、建物の外壁の取付工事がおおむね完了しました。続いて、防水・下地処理をおこない塗装工事にとりかかります。塗装色は、柔らかい印象となるようアースカラーを採用しています。



煙突内筒の搬入時の様子

焼却炉の側壁部分に耐火・耐熱レンガを積上げています

プラント工事では、焼却炉の側壁部分の耐火・耐熱レンガを積み上げ工事に取りかかりました。ごみを燃焼させる焼却炉内の温度は、850℃の高温となりますが、それ以上の高温にも耐えることができ、膨張などの変形の少ない材質のレンガを選定しています。焼却炉側壁の外側の室内温度は45℃程度となり、断熱性も考慮したものとなっています。

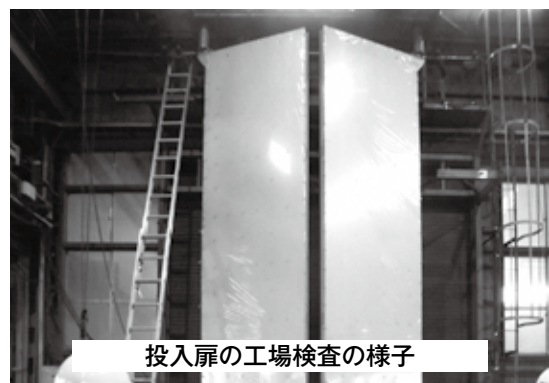
工場検査では、投入扉とダンピングボックスの検査をおこないました。投入扉は、パッカー車が搬入したご

みをごみピットに投入する際に、開閉する扉です。大きさは幅3m、高さ5.5mあり、プラットフォームに3基設置します。非常に大きく重い扉を電動で開閉するため、設定した時間・速度で余分な負荷がかからずスムーズに動作することを確認しました。ダンピングボックスも、同様に動作確認をおこないました。

プラント機器の搬入に際しては、道路沿道の皆さまにご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



焼却炉レンガ積上げの様子



投入扉の工場検査の様子

“環境の森センター・きづがわ”の早期稼働に向けて、地元の皆さんをはじめ市民の皆さん、一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

クリーンセンター建設推進室 ☎ 75-1226 ☎ 72-3900 ✉ clean-center@city.kizugawa.lg.jp